

# 感染症ミニレター

編集/発行 令和8年2月17日  
兵庫県伊丹健康福祉事務所  
(保健所)健康管理課

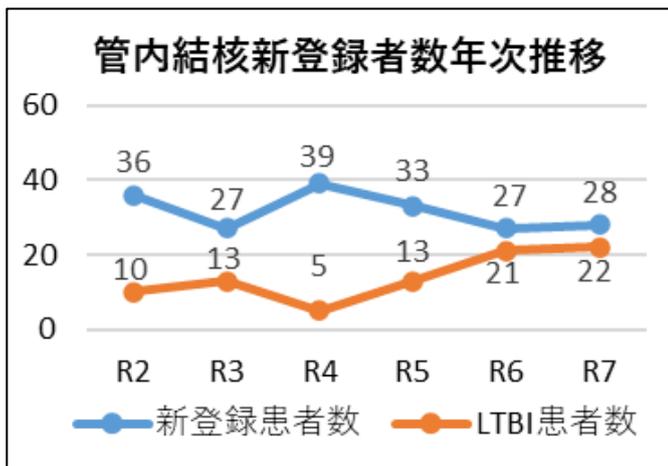
～日本もようやく低蔓延国入りしましたが、まだまだ要注意です～

TEL 072-785-2371  
FAX 072-777-4091

平素より、感染症対策の推進につきまして、ご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。  
医療機関等における感染対策のさらなる充実のため、結核に関する管内(伊丹市・川西市・猪名川町)の最新情報等をお届けします。

## 管内の結核についての傾向 ～令和7年1月～12月までの総まとめ～

【グラフ1】



結核新登録患者と LTBI 患者数を合わせると  
**50事例**です。(グラフ1より)

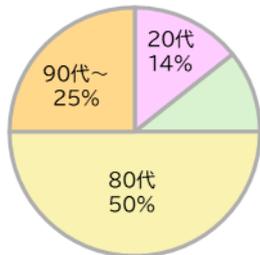
そのうち、**10事例**が外国出生者でした。(R6年は15事例)

入国して間もない外国出生者は、生活や食事等の慣れない環境で、ストレスを感じやすい状況です。免疫力の低下は結核発病につながります。



結核は高齢者も多いですが…  
近年、伊丹健康福祉事務所管内では、若い世代の**外国出生患者が増加傾向**です。

管内結核新登録者年齢別割合 (R7年)



管内の高齢者と外国出生の結核患者の割合(R7年)

高齢者	外国出生の結核患者
80歳以上が全体の約 <b>75%</b>	20歳代の <b>100%</b>

結核死が急増しています！  
**1事例(R6)→5事例(R7)**

診断の遅れ(=初診から診断まで30日以上)が急増！  
**5事例(R6)→12事例(R7)**

診断の遅れにより、  
リンパ節結核から肺結核も  
合併してしまう事例もありました。

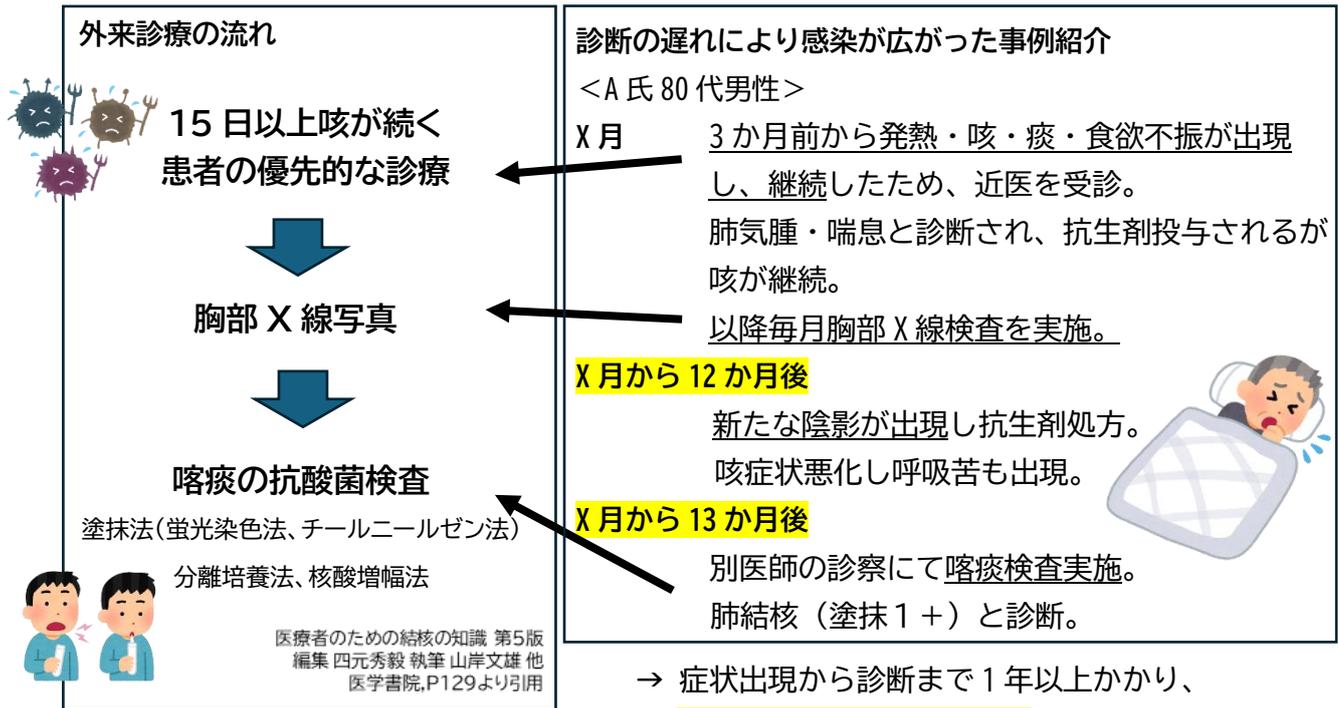
結核と診断されるまでに肺炎や喘息と診断され、  
抗生剤の使用により、症状が一時的に緩和  
され、診断が遅れた事例【4事例】もありました。  
(うち2例は結核死につながっています)



結核の発見の遅れは、患者さんの予後に影響するだけでなく、周囲への感染リスクを増大させます。  
結核患者を早期に診断して治療につなげていただきますよう、よろしくお願いいたします。

## 結核感染対策のキホン

結核患者の早期発見(感染源対策)と医療施設側の結核菌対策(感染経路対策)が必要です！



## ☆早期発見のためのポイント☆

### 長引く咳は結核のサインです！

入院患者  
外来患者ともに

咳が続いている患者や痰の増加が認められた患者には、

**他疾患と併行して結核を疑い、3日間連続検痰**を行きましょう。

☆特に、高齢者や副腎皮質ステロイド服薬中の患者は要注意です！

☆喀痰検査は、まず1回は塗抹・核酸増幅法・培養の3セットのオーダーを検討しましょう！

## ☆医療施設側の結核菌対策についてのポイント☆

### 換気の確保 ・ 適切な N95 マスクの着用



N95 マスクは、着用者の顔に合った形とサイズのものを使用しましょう。

顔面に密着していなければ、十分な効果が発揮できません。

毎回シールチェックを行い、空気の漏れがないか確認することが大切です！

フィットテストも定期的に行うと良いでしょう！

結核菌は空気感染により人から人へと感染します。

肺結核が疑われる場合は、診断がつく前から**空気感染対策**を行うことが重要です！

# 結核診断のフローチャート

## 結核を疑う基準（問診）

症状：2週間以上続く咳・息切れ・胸痛・痰・血痰・微熱・寝汗・食欲低下・倦怠感・体重減少

★肺炎や喘息の治療で改善しない場合 ★発病のハイリスク者の場合

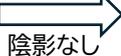
※高齢者は典型的な呼吸器症状がでない場合も多いので注意する。

### 結核発病ハイリスク者の例

- 糖尿病患者 ○透析患者
- 低栄養・低体重者 ○結核既往者
- 抗がん剤やステロイド使用者 等

## 結核診断の流れ

### 胸部 X 線検査(必要時胸部 CT 検査)



異常陰影がない場合も気管支結核の可能性がある。**有症状時は、喀痰検査を実施する。**



陰影あり ★どのような陰影であっても結核の可能性を検討する。

### 喀痰検査

日にちを変えて3回の抗酸菌塗抹・培養検査の実施うち、1回は核酸増幅検査(PCR、LAMP 等)

### 喀痰採取が難しい場合

吸引痰や胃液の採取を検討する。

塗抹陽性

塗抹陰性

PCR 陽性

PCR 陰性

PCR 陽性

培養検査結果を確認(1~8週間)

培養陰性

培養陽性

PCR 陰性

PCR 陽性

肺結核

さらに検査を進め、鑑別

肺結核

必ず薬剤感受性検査を実施する。

専門医療機関に紹介・診断後、直ちに最寄りの保健所へ発生届を提出

## 結核と診断した場合

結核は、診断後直ちに最寄りの保健所へ届出が必要な感染症です。



結核を診断された際は、直ちに最寄りの保健所へ電話でのご連絡と「結核患者発生届」の FAX をお願いします。また、結核治療中の方が入院や退院した場合は、「入退院届」の提出が必要となります。